

令和3年5月28日  
日本原子力研究開発機構 契約部

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大型計算機システム等の運用業務、基幹ネットワークシステム等の運用業務、情報セキュリティ対策システム等の運用業務に係る落札結果等について

令和2年6月の第584回入札監理小委員会で評価いただいた際に依頼を受けました事項について、以下のとおりご報告させていただきます。

<依頼事項>

1. 次期入札（令和3年度開始事業）の落札結果
2. 次期入札（令和3年度開始事業）に際して取り組んだ内容
3. 結果を踏まえた機構の今後の進め方

1. 落札結果等

【案件1】

- ・ 件名：大型計算機システム等の運用業務
- ・ 契約金額：144,144,000円（税抜）（前回契約金額：149,034,600円（税抜））
- ・ 契約相手先：一般財団法人高度情報科学技術研究機構（前回と同じ）
- ・ 入札参加者数：3社（前回：2社）

【案件2】

- ・ 件名：基幹ネットワークシステム等の運用業務
- ・ 契約金額：169,524,000円（税抜）（前回契約金額：174,579,120円（税抜））
- ・ 契約相手先：一般財団法人高度情報科学技術研究機構（前回と同じ）
- ・ 入札参加者数：2社（前回と同じ）

【案件3】

- ・ 件名：情報セキュリティ対策システム等の運用業務
- ・ 契約金額：212,400,000円（税抜）（前回契約金額：221,439,960円（税抜））
- ・ 契約相手先：一般財団法人高度情報科学技術研究機構（前回と同じ）
- ・ 入札参加者数：2社（前回と同じ）

2. 今回の入札で行った取り組み

2.1 主な仕様の見直し

- ・ 合理化による情報セキュリティ教育システム運用の縮小

- ・クラウドの活用による公開 Web サイト集約システム運用の縮小
- ・検疫ネットワークシステムの運用を廃止
- ・情報資産台帳管理システム（IRMS）の運用を廃止
- ・上記見直しに伴い業務に必要な資格等の緩和（運用技術者のランクダウン）。

## 2.2 市場価格の把握

機構の契約金額（技術者単価）の妥当性について、調査した 4 社の単価を全て下回っており、また、システム関係の有識者に確認した市場価格と比較しても安価であったため、妥当な金額であると確認した。

## 3. 今後の進め方

今後も、官民競争入札等監理委員会における審議を通じてご指導いただいた経験を活かし、業務の質及び競争性を確保していくと共に、さらなる経費の削減等に努めるよう取り組んでいく。

以上